

令和6年度

学生によるオレンジリボン運動

福山平成大学 実施報告書



実施主体 福山平成大学助産学専攻科{オレンジリボン活動}

実施内容 令和6年10月26日・27日

①事前に取り組んだ内容

学生は、地域の子育て支援の一環として地域母子保健の授業で児童虐待を学んだ。事前に地域の児童虐待防止活動を調査し、子供を虐待から守る活動について資料を作成した。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

福山平成大学御幸祭開催時、助産学専攻科学生は「オレンジリボン運動」として参加した。

助産学専攻科学生は、来校者にオレンジリボン運動を説明し、オレンジリボン・オレンジ付箋配布し子供を虐待から守る防止活動を展開した。

参加者はオレンジ色の付箋200枚を活用して、「子どもは宝、大切に育てよう」学生と共にオレンジリボン運動を高めた。

③オレンジリボン運動を終えて…

学生は、オレンジリボン運動をとおして「参加者が子どもへの深い愛情と敬意」が理解できた。

学生は、「児童虐待の予防に、これから自分たちにどのようなことができるのか」をディスカッションした。

助産師学生として、妊婦と出会った時から、妊婦とその家族に「母親と胎児との絆を深め、家族で子どもを迎える、子ども中心に考える家族の支援」の重要性を共通認識した。

毎年、大学祭で開催するオレンジリボン運動を後輩にも伝えていきたい。

